

## 日 誌 (昭和 38 年 6 月)

### 【国 内】

- 4 日 ○産業合理化審議会、通産省所管業種の38年度設備投資計画(総額 15,636億円、前年実績見込み比 4.4 %増)を政府に答申
- 6 日 ○外国為替銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利を引下げ(要録参照)
- 10日 ○第17回全国銀行大会開催
- 17日 ○大蔵省、金融機関に対し特利預金の整理方を通

- 達(要録参照)
- 24日 ○政府、政府短期証券の発行割引歩合を日歩 1 厘引下げ(要録参照)
- 本行、政府短期証券を売買する場合の割引歩合を日歩 1 厘引下げ
- 証券金融会社 3 社、貸借金利を日歩 2 厘引下げ(要録参照)

### 【海 外】

- 1 日 ○EEC、域内関税を10%引下げ(発足以来60%)、域外共通関税に30%の第2接近を実施
- 4 日 ○ケネディ米大統領、銀買入法の廃止および連邦準備法の改正に関する銀法案に署名
- 対インド債権国会議の開催
- 11日 ○EEC蔵相会議、米国のEEC向け直接投資を検討
- マラヤ、フィリピン、インドネシア3国外相会談において、マレーシア問題をめぐる紛争解決の合意成立
- 13日 ○カナダ政府、新税制法案を議会に提出
- 14日 ○イタリア、砂糖の自由輸入7月31日まで延長
- スウェーデン銀行、公定歩合を3.5%から4%へ引上げ
- 18日 ○ソ連共産党中央委員会総会開催(21日まで)
- 19日 ○GATT理事会、ジュネーブにて開催(21日まで)
- ケネディ米大統領「公民権と職業の機会に関す

- る特別教書」を議会に提出
- 20日 ○米国、鉄鋼労使交渉妥結
- 21日 ○IMF理事会、ヤコブソン前専務理事の後任にフランス中央銀行副総裁ビュール・シュバイツァー氏を選出(正式就任は9月1日)
- EEC農相会議、穀物価格調整につき原則的合意
- イタリア、レオーネ内閣成立
- 22日 ○ケネディ米大統領、訪欧旅行に出発(7月3日帰米)
- 27日 ○GATT貿易交渉委員会第1回会議、ジュネーブにて開催、3小委員会の設置を決定
- 28日 ○5月21日から開催中の国連貿易開発会議第2回準備委員会、明年3月国連貿易会議本会議の開催を決定して終了
- オーストリア国民銀行、公定歩合を5%から4.5%へ引下げ